

教育委員会の点検・評価  
(令和元年度分)  
報告書  
(社会教育関係事業抜粋)

令和元年 5 月  
境港市教育委員会

【目標3：社会教育の充実】

事業名	学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業	担当課	生涯学習課
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもを取り巻く環境が大きく変化するとともに、家庭や地域の教育力が低下している。未来を担う子ども達の健全育成を図るため、学校・家庭・地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりを引き続き目指す。</li> <li>学校・家庭・地域の連携協力のための様々な取り組みを支援し、社会全体の教育力の向上を図る。</li> </ul>		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年度より教育委員会事務局内に学校支援コーディネーターを配置し、市内小中学校10校と学校ボランティアとの調整を図りながら、学校の要望に応じて様々な教育活動を支援する。</li> <li>国の委託事業を平成23年度から国県の補助事業として実施。「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」（市1/3負担）</li> <li>今年度より第1中学校校区で学校運営協議会制度（コミュニティスクール）が始まり、次年度は3中校区、次は2中校区と順次始まるため、国が進める「地域学校協働本部活動」としてR2年度より活動を行う。</li> </ul>		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の要望に応じて様々な教育活動を支援した。 →登下校安全指導、読み聞かせ、環境整備等</li> <li>「コーディネーター便り」を配付し、事業内容の啓発を図った。 配布先：学校、保護者、公民館、当該ボランティア等</li> <li>見守りボランティア意見交換会を実施した。</li> <li>今年度は冬用の帽子の配布し、見守り隊の帽子・ベストを統一し市内全域で見守り活動を盛り上げる。</li> <li>コミュニティスクール開設のため順次中学校校区に地域コーディネーターを配置しており、地域と学校の連携を目指す。</li> </ul>		
予算額	1,286千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>見守りの帽子・ベストを配布し市内で統一した効果もあり、不審者事案が減少（H25：26件→R1：1件）。</li> <li>見守りボランティア意見交換会を実施し、研修するとともに、課題の共有等が図れた。</li> <li>市内各小中学校により支援の内容は様々ではあるが今後も更なる支援の拡充を目指したい。</li> </ul>		
評価	○	概ね順調	
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティスクール事業の地域側である「地域学校協働本部」としてどう活動していくのか。</li> <li>地域コーディネーターの活動により地域との連携を深め、子どもを支える人材を見つける。</li> </ul>		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と地域との一層の連携を目指す必要がある。</li> </ul>		

※ 学識経験者による指摘・助言

この連携のための機関として公民館が既に存在していると考え、公民館は地域の情報ネットワークと人材活用のハブ的存在なので、公民館の一層の有効活用を図りたい。

現在、多くの活動がボランティアに頼った状況になっているが、ボランティアにも一定の謝金を出す方向を模索してもらいたい。公民館が真の力を発揮できるようにするためにもこのことは重要と考える

【目標3：社会教育の充実】

事業名	読書活動推進大会開催事業	担当課	生涯学習課
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタートに始まり、「朝読」、「ファミリー読書」というように、赤ちゃんから大人まで生涯を通じた読書活動の推進を図る。</li> <li>・「読書まつり」を実施し、読書の楽しさ・大切さを伝える。</li> </ul>		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ団体等による読み聞かせ、読書に関する展示、その年々のテーマに沿った講演会等を開催し、様々な形で読書活動を市民に周知し生涯読書の推進を図る。</li> </ul>		
実施状況	<p>◎テーマ 『境港市読書まつり』～赤ちゃんから大人まで本で楽しいひとときを～                      日時 12月15日(日) 10:30～15:30                      場所 保健相談センター                      参加人数 約550人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会 演題：「夢をかなえる図書館」                          講師：小林 隆志氏（鳥取県立図書館 支援協力課長）</li> <li>・おでかけ図書館ウォッチング読んでみる？ ・乳幼児と楽しむ絵本とわらべうた（境港親と子どもの劇場） ・演劇「ストレンジャー」（境高校 演劇部） ・読書会（境港読書会「の場所」） ・キラキラスライム、ビー玉万華鏡を作ろう！（米子ものづくり道場） ・学校図書館展示（各小・中・高等学校図書館の取組を紹介） ・1箱本屋さん（一般公募） ・読みメン講座（浜田佳尚氏、大池明氏） ・読み聞かせとしおりづくり（境港市立第一中学校生徒、ふるさと一中校区応援団） ・図書館クイズラリー ・写真展示（一般公募） ・手作りカフェ（麺屋やまもと、八田カメラ）</li> </ul>		
予算額	100千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会、学校図書館展示、演劇、ものづくり、読みメン講座、お話し会など魅力的な催しを行い、多くの方にお越しいただいた。</li> <li>・昨年より学校図書館展示に高等学校からも参加をいただき、引き続き市内全小中高等学校の図書館の取り組みが紹介できた。</li> <li>・一中校区コミュニティスクールの活動として生徒による読み聞かせ、しおりづくりを行い幅広い世代間の人に関わりを持てることが出来た。</li> </ul>		
評価	◎ 順調		
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各イベントが参加者でいっぱいになると予定時間が延長となってしまう、次のイベントの時間が重なったり参加が出来ない状況が発生してしまった。</li> </ul>		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの内容、開催時間設定の検討</li> </ul>		

※ 学識経験者による指摘・助言

若者達はもちろん高齢者にとっても、読書は人生を有意義に過ごすための必要不可欠の営みであると考えます。この事業をますます発展充実してもらいたい。また、多くの人の読書習慣は一冊読む機会があると続けて次の本を読むが、忙しい時期があるとまた読書から離れるという断続的な傾向が強いと考える。その意味で、読書への関心をたびたび呼び起こすことが大切なので、この行事は市民にとって重要と考える。

昨年は各公民館に市民図書館の本を配置して頂き、町民はとても喜んでいますが、借り手が少なかった公民館もあるようですが、そこは公民館の町民への呼びかけ次第だと考える。この取り組みを大きく育てて欲しい。

【目標4：体育・文化の振興】

事業名	海とくらしの史料館開館25周年記念事業	担当課	生涯学習課
事業の目的	海とくらしの史料館の開館25周年を記念し、同館の目玉展示であるマンボウやサメの生態、人間との関わりの歴史等について広く知ってもらおうとともに、来館者の増加を図る。		
事業概要	<p>【開催期間】令和元年4月27日（土）～5月27日（月）</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マンボウやサメの生態、江戸時代のマンボウ絵図の展示</li> <li>・マンボウクイズ、スタンプラリー</li> <li>・子ども向けイベント（わらべ歌ライブ、ワークショップ）</li> <li>・マンボウ・サメの生態に関する講演会</li> </ul>		
実施状況	<p>【期間中の来館者数】3,349人</p> <p>【こどもマンボウ】423人（内数）</p> <p>【おとなマンボウ】700人（内数）</p>		
予算額	750千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期中天候に恵まれたこともあり、展示、特別企画とも当初の目標を上回る方々にお越しいただいた。サメやマンボウの生態について、展示や講演のほか、マンボウのヒシなどに実際に触れてもらい、来場者から驚きの声をいただいた。また、子ども向けの読み聞かせイベントを実施したところ、会場には子ども達の笑い声が溢れ、内容についても好評を得た。</li> </ul>		
評価	◎	順調	
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会場が狭いため、十分な客席数を確保することができなかった。</li> <li>・当館職員がサメの生態に関する資料を集めて展示したが、専門知識を持たないため、展示内容に限界を感じた。</li> </ul>		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンボウやサメなど、同館の目玉である魚の生態や歴史などを広く知ってもらうための取り組みを定期的に行っていく。</li> </ul>		

※ 学識経験者による指摘・助言

史料館職員の専門性が問題点として取り上げられているが、このことは問題点というよりもむしろ長所であると考え。専門家に依頼するのではなく、職員が調査活動をした成果を発表することの方が、職員のやりがいが高まり、また市民の肌感覚に合うので、より深い意義をもつものと考え。

【目標4：体育・文化の振興】

事業名	2019レーザー級世界選手権大会負担金	担当課	生涯学習課
事業の目的	境港市内で開催される2019レーザー級世界選手権大会の開催を支援することにより、地元のセーリング競技力向上を図る。		
事業概要	<p>レーザー級、レーザーラジアル級（女子）の大会は東京2020オリンピックの国粋を争う大会として、レーザーラジアル級（男子）はオープン大会として下記日程で開催した。</p> <p>【レーザー級（男子）】 会期 6月26日（水）～7月9日（火） 参加選手 156人</p> <p>【レーザーラジアル級（女子）】 会期 7月11日（木）～24日（水） 参加選手 111人</p> <p>【レーザーラジアル級（男子）】 会期 7月11日（木）～24日（水） 参加選手 32人</p>		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市は会期中、選手の輸送、各種ボランティアの手配、会場内の総合案内等を担当した。</li> </ul>		
予算額	20,000千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>本大会の開催を通じ、境港がセーリング競技に適した場所として国内外へアピールできた。</li> <li>多くの市民ボランティアの協力により、大きなトラブルもなく大会を終えることができた。また、ボランティアによる通訳、食事提供等の機会を通じ、市民と選手が交流を図ることができた。</li> </ul>		
評価	◎	順調	
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会参加者数に比べ市内の宿泊施設が足りないため、やむなく市外のホテル等に宿泊せざるを得ない状況が発生し、参加者に不便を生じた。</li> </ul>		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>セーリング競技に適した場所として、今後も国内外の選手に利用してもらうとともに、地元セーリング競技のレベルアップへ向けて県や県セーリング連盟と連携しながら取り組んでいく必要がある。</li> </ul>		

※ 学識経験者による指摘・助言

境港市はマリンスポーツとウィンタースポーツの両方が1時間圏内であるという世界的にも希な立地である。そのことを生かし、スポーツに関わる人々の出会いと交流の場に育てていく使命があると考え、その意味で検討事項に書かれていることに深く賛同する。